

令和2年度 第22回教育研究発表会

主体的にコミュニケーションを図ろうとする 態度の育成を目指した英語活動

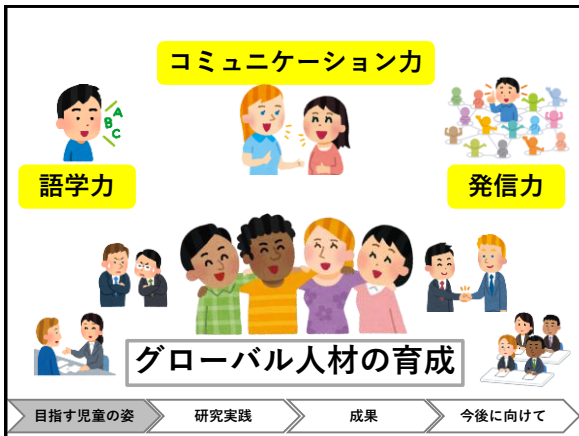
～児童の気付きを大切にした取組を通して～

京都市総合教育センター
研究課 研究員 丹後 由香




発表の流れ

- 本研究で目指す子どもの姿
- 研究実践について
- 研究における成果
- 今後に向けて



京都市における小学校外国語教育の現状

	今年度より	
高学年	教科「外国語科」	
中学年	外国語活動	
低学年	英語活動	京都市独自

- ・「外国語」との出会い
- ・外国語教育を通して大切にしていくこと

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて

低学年の発達段階

自己中心的

他者の心理を推測し始める



7歳ごろから

他者（相手）に対する意識の芽生え

国語科とも関連して

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて

日常

外国語





どうしたら
よりわかりやすく伝わるかな。

挑戦する
気持ち

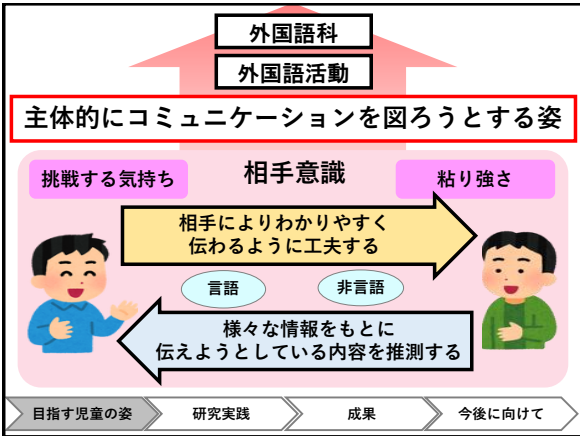
粘り強さ

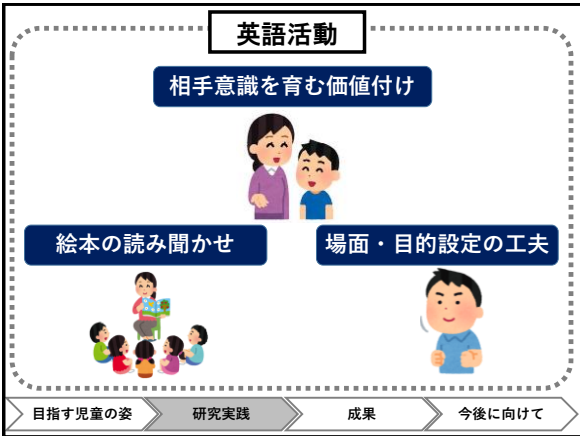
何を伝えようとしているのかな。

外国語だからこそ
より相手に対する意識が高まる

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて










絵本の読み聞かせ

コミュニケーションは「**聞くこと**」から



聞いてわかる体験が大切

体を動かす 声に出す

外国語への慣れ親しみ

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ



相手によりわかりやすく
伝わるように工夫する

様々な情報をもとに
伝えようとしている内容を推測する

指導者が工夫して伝えようとする姿が
児童の「聞く姿」を育む

粘り強さ

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ 低学年「英語活動」指導計画

1年生 全10時間

Unit 1	えいごであそぼう
Unit 2	オリジナルちょうちょをしょうかいしよう

2年生 全15時間

Unit 1	いくつかなクイズをしよう
Unit 2	サラダで元気
Unit 3	オリジナル絵本をしょうかいしよう

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ		コミュニケーション活動に つなげるために	
活動	読み聞かせの目的	単元計画	
第1時	読み聞かせ	(1) 推測させる	Input
第2時	読み聞かせ	(2) 発話を促す	
第3時	読み聞かせ	(3) やり取りを	Output
第4時	コミュニケーション活動 【やり取り】		
第5時	コミュニケーション活動 【発表】		

目指す児童の姿 → 研究実践 → 成果 → 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ (1) 推測させる 2年Unit 1

Yes! That's right!

おなかがすいているのかな。

おなかがいたいのかな。

声の調子

表情

言葉

身振り

絵

様々な情報をもとに
物語の内容を推測する

目指す児童の姿 → 研究実践 → 成果 → 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ (2) 発話を促す 2年Unit 3

I see a ...

Green frog!

That's right!

投げかける

少しずつ見せる

物語を思い出しながら
進んで英語を使って表現しようとする姿

進んで「自分のこと」を伝えようとする姿

目指す児童の姿 → 研究実践 → 成果 → 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ (3) やり取りを大切にする 1年Unit 2

問いかける 共感する ほめる

「自分のことを伝えたい」といった思いが高まる

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

英語絵本の読み聞かせ

様々な情報をもとに
伝えようとしている内容を推測する

+

自分の考えや思いを
何とか伝えようとする

単元最終のコミュニケーション活動へ

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

やってみたい 伝えたい 知りたい

聞きたい

児童の思いを引き出す活動を大切にする

何かのために 場面・目的設定の工夫 誰かのために

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

場面・目的設定の工夫 2年Unit 3

**1年生に、自分たちで作った
オリジナル絵本の読み聞かせをしよう**

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

場面・目的設定の工夫 2年Unit 3

**1年生に、自分たちで作った
オリジナル絵本の読み聞かせをしよう**

1年生が
楽しめるように

1年生に
伝わるように

主体的に活動に取り組む姿

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

場面・目的設定の工夫 2年Unit 3

英語を使って
表現できるように
なった姿

価値付ける

相手意識をもって
「伝える姿」
「聞く姿」

振り返る

表情は笑顔で


あいさつをしよう

ジェスチャーを
取り入れたら


目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

場面・目的設定の工夫 2年Unit 3

自分たちでやってみる



互いのグループの工夫を
見てみる



話し合いをする

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて

場面・目的設定の工夫 2年Unit 3

一年生ははひょうするときいてウキウキして
きました。 動機付け

今日学ぼうのことを一年生にちゃんと色やどうぶつを
伝えたいです。 活動意欲の高まり

どうぶつや名前や色の言い方をおぼえられて一年生
にうかがいを早くしたくなりました。 主体的に学ぶ姿


色をぬりながら、心の中の色やどうぶつをいって
いら、いごのことをほとんどおぼえてしまいました。

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて

場面・目的設定の工夫

どうぶつのことばが
いろいろ出てきて
たのしかった。

一人一人
ちがういごがあって
またおしえてもらいたい。



1年生

「ブラウンベアー」が
ちゃんと言えていて
すごい。

知らないことばが
きけてよかった。


わたしも
むずかしいいごが
言えるようになりたい。

達成感

やってよかった!

自信

楽しんでもらった



2年生

自分にもできる

伝わった

またやりたい

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて

2年Unit 3

場面・目的設定の工夫

自分たちでやってみる

相手意識を大切にしようとする
気持ちが高まる

外国語活動に対する
期待や意欲が高まる

「思い」が
主体性を育む

達成感が
自信につながる

➤ 目指す児童の姿
➤ 研究実践
➤ 成果
➤ 今後に向けて

互いの思いは伝わらない

すてきな
笑顔だな。
楽しいな。

笑顔だと
お互いに
気持ちいい。

Hello!

Hello!

互いの思いを言語化して共有することが大切

↓

相手意識を育む価値付け

➤ 目指す児童の姿
➤ 研究実践
➤ 成果
➤ 今後に向けて

相手意識を育む価値付け 学習活動中①

指導者 「お友達と顔を見て
どうだった？」

児童 「目を見たら自然に
〇〇さんの思いが
伝わってきました。」

指導者 「目を合わせたら、
どんな思いか
分かった？」

児童 「楽しそうだった。」

指導者 「目でも心の中が
伝わるんだね。」

相手意識のある
行動の良さを価値付け

児童の思いを
引き出す発問

思いを言葉で表現

➤ 目指す児童の姿
➤ 研究実践
➤ 成果
➤ 今後に向けて

相手意識を育む価値付け 学習活動中②

児童① 「合っていた時にGood.とかNice try.とか言ってくれてうれしかった。」


指導者 「〇〇さん、どうして言ってくれたの？」

児童② 「合ったり間違っていた時に何も言わなかったらお互いに楽しめないから。」

指導者 「合っていたらGood.間違っていたらNice try.お互いに楽しめたらいいよね。」

工夫のよさを価値付け


工夫と受け手の感じたことをつなげる



思いを言葉で表現

➤ 目指す児童の姿
➤ 研究実践
➤ 成果
➤ 今後に向けて

相手意識を育む価値付け



発問

相手意識のある行動の良さを価値付け

発問

思い

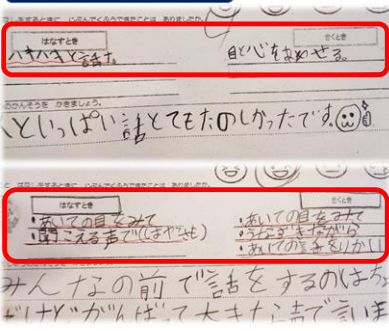
つなぐ

思い

相手意識の大切さに気付く

➤ 目指す児童の姿
➤ 研究実践
➤ 成果
➤ 今後に向けて

相手意識を育む価値付け 振り返り活動



ハキハキと

聞こえる声で

あいての目を見て

目と心を合わせる

うなずきながら

➤ 目指す児童の姿
➤ 研究実践
➤ 成果
➤ 今後に向けて

相手意識を育む価値付け 振り返り活動

はなすとき きくとき
ありがとう
えいごでコミュニケーションのやり取りをして、じぶんとあいてがうれしくなるよ。おたがいのやり取りができたね。

共感する ほめる 価値付ける 指導者の思いを伝える

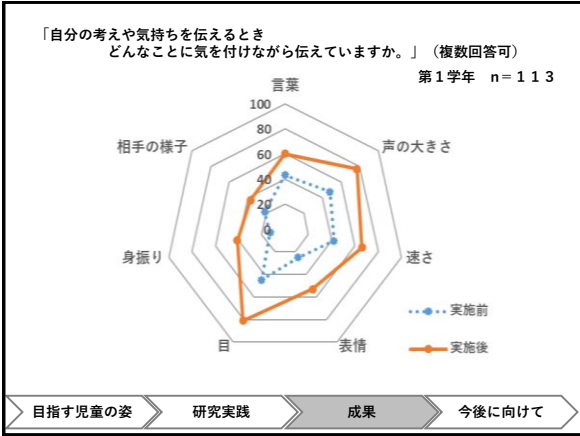
目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて

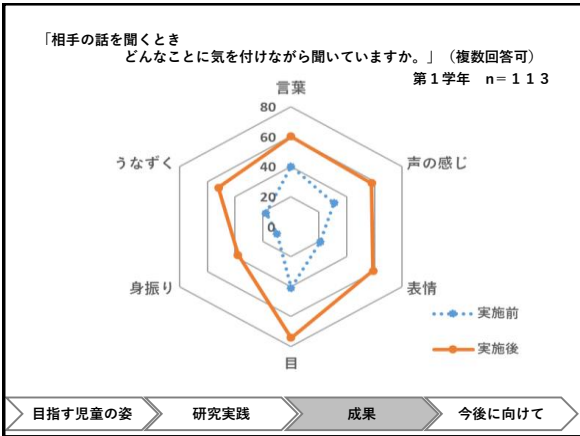
相手意識を育む価値付け

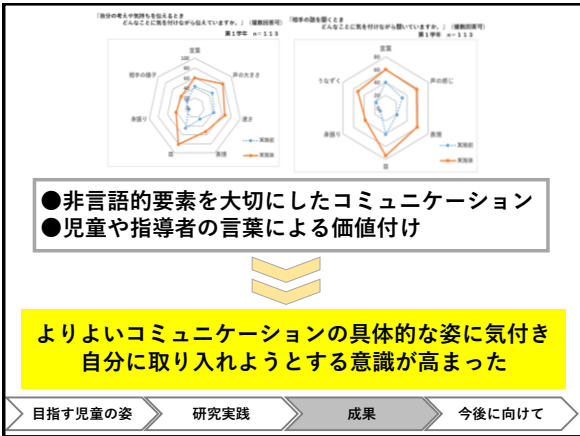
児童の「気付き」として大切に

たしかめ ゆびをさす おおを見る
おまわり いもうた

目指す児童の姿 研究実践 成果 今後に向けて







● 場面に応じて進んで英語を使おうとする姿勢が高まった

● 「間違いを恐れずに」という姿勢が生まれた

児童

● 低学年だからこそ非言語を生かして伝えることの大切さを感じた
● 自身の「英語を通して伝えよう」という意識が高まった

指導者

目指す児童の姿 → 研究実践 → 成果 → 今後に向けて

今後に向けて

より主体的にコミュニケーションを図ろうとする姿

外国語活動

日常生活

よりよいコミュニケーションを図ろうとする意識の高まり

- 「学びに向かう姿勢」に着目して 間違いを恐れずに 意欲的に
- より身近で体験的な活動の工夫を 挑戦して 自分から進んで

目指す児童の姿
研究実践
成果
今後に向けて

令和2年度 第22回教育研究発表会

主体的にコミュニケーションを図ろうとする
態度の育成を目指した英語活動
～児童の気づきを大切にしたい取組を通して～

QRコードを読み取り
アンケートにご協力いただくと幸いです。

京都市総合教育センター 研究課 研究員 丹後 由香
